

長野県議会議員一般選挙公報

平成31年4月7日執行

佐久市・北佐久郡選挙区

長野県選挙管理委員会

未来へ進む一志

未来への展望を切り拓く具体策の実現へ丁寧な誠実に先頭に立って挑みます!!



小山 仁志
こやま ひとし

子どものいのちを守り最善の利益を確保する

- 1 SOS の出し方教育、全県展開へ
- CAP (自分を守るための人権教育プログラム) の普及促進
- 里親 (家庭的養護) 制度の推進

確かな時代認識と共に
新しい潮流を生み出す力へ

生涯にわたり安心してイキイキと暮らせる地域共生社会の実現

- 2 公共交通の充実、機能向上によるネットワークの充実
- シニア世代の技術や経験、能力を活かして頂く雇用の創出
- 介護人材確保・定着にむけた施策の充実

プロフィール

昭和 50 年佐久市生まれ (43 歳)
 岩村田高等学校 / 東海大学政治経済学部政治学科卒業
 平成 11 年から 9 年間長野県議会議員候補事務所秘書として勤務
 平成 21 年 佐久市議会議員選挙初当選
 平成 25 年 佐久市議会議員選挙 2 期目当選
 平成 27 年長野県議会議員選挙初当選
 NPO 法人チャイルドライン佐久事務局員 / 社会福祉法人佐久平橋社会理事
 佐久市測量設計業協会顧問 / 社会福祉法人佐久福寿園理事 /
 岩村田連合商店会 理事 / 佐久市消防団第 7 分団、社団法人ソフトボール部チームに所属
 家族：妻 (調律師)、長男、次男、長女と共に岩村田住吉町区で 5 人暮らし

農業 × 産業の持続的な成長を生み出す 確かな基盤づくり

- 3 スマート農業の導入支援による収益性の強化
- ヘルスケア産業振興によるサプライヤーの創出
- 健康経営、ワーク・ライフ・バランスの普及促進

多くの若者が戻り、住み続けられる 持続可能な地域の実現!



自民党公認
公明党長野県本部推薦
おおいたけお
大井 岳夫
42 歳



- 1 社会基盤整備**
 - 地域の安全を守り経済に貢献する
 - 中部横断自動車道の早期全線開通
 - 松本佐久地域高規格道路の実現
 - 幹線道路の整備、安全対策
- 2 新たな雇用を創出**
 - 地域経済を支え活性化させる
 - 企業のチャレンジを後押しし、競争力を高める
 - 地域内の資源を積極的に活用させる
 - 農林業、畜産の振興により、地産地消を推進
 - 観光の広域連携を推進
- 3 人材育成**
 - 地域の将来を担う
 - 大学・研究機関の誘致
 - 博士号を育む教育の推進
 - 指導者の育成・採用
 - 芸術文化が身近に親しめる環境整備
- 4 生活環境の整備**
 - 快適に暮らせる
 - 高齢者・高校生に寄り添った公共交通の実現
 - 空き家対策
- 5 やさしい地域**
 - 女性にやさしい地域
 - 子育てしながら働き続けられる環境整備
 - 不妊治療・出産・子育ての負担を軽減

大井岳夫 プロフィール

昭和 51 年 佐久市生まれ。名前の由来は八ヶ岳から。
 平成 8 年 明治大学入学。体育会所属で「G・E・E」を創る
 平成 12 年 三和銀行 (現三菱UFJ銀行) 入行。法人営業を担当
 平成 21 年 明治大学大学院が「ナンス研究科」を創設 (公共政策学修士)
 佐久市議会議員に初当選 (3期10年連続)

主な地域活動
 ・佐久ライオンズクラブ会員
 ・佐久相撲クラブ監督
 ・佐久市消防団員 (死傷を経て 12 年目)
 ・佐久青年会議所 (JIC) にて、8 年間まちづくり活動に携わる

今すぐの課題!

- 実効性ある働き方の推進
「やりがい・生きがい」をもって働ける社会の実現へ!
- 子育て支援は妊娠からの制度を拡充
国と県の施策により、少子高齢化に歯止を掛ける施策の構築!

- 《県民マイクの加速と強化》
「自分が言っても世の中変わらない」から「発言すると世の中変わる」へ意識改革。
- 《持続可能な農林業の推進》
老朽化した農業用水利施設の改修と、防災・減災対策の両立。
- 《交通網の利点を生かした交流人口の創出》
高速交通網の連携強化による、人の集まる地域づくり。



花岡 賢一 (けんいち) プロフィール
 S 54 年 (1979 年) 8 月 29 日 佐久市平賀生まれ
 H 4 年 3 月 佐久市立佐久城山小学校 卒業
 H 7 年 3 月 佐久市立中込中学校 卒業

H10 年 3 月 長野県立岩村田高等学校 卒業
 H15 年 3 月 専修大学法学部 卒業
 H15 年 9 月 元外務大臣 武藤雄正 秘書
 H18 年 6 月 元内閣総理大臣 安倍晋三 秘書
 H24 年 12 月 衆議院議員 寺島壽中 秘書

H27 年 4 月 長野県議会議員 初当選
 一期在任中 農政林務副委員長、
 議会運営委員会委員長を務める
 佐久市消防団 11 分団所属

生活 ↔ 政治
 言葉が変わる
 県民マイク

何をやってるのか分からない?
 誰かやっても一緒じゃないの? ...と表現されることがありますが、この閉塞感を打ち破ることができれば、「政治はもっとオモシロイ」と感じているだけでも確信しています。

その中で、「政治をもっとシンプルに!」をスローガンに活動をして参りました。これからも、分かりやすく伝わりやすい、そんな政治を目指して参ります。



花岡 けんいち
39 歳

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。)

長野県議会議員一般選挙公報

平成31年4月7日執行

佐久市・北佐久郡選挙区

長野県選挙管理委員会



北佐久郡ただひとりの候補者
県議4人のなかで、ひとり北佐久郡から！
4地域の協力を深め、さらなる佐久平の発展を！

誰ひとり
取り残さない！

**安心して暮らせる
「福祉の充実」**
様々な生活環境に寄り添った、医療・福祉メニューの充実
生涯現役で「びんびんころり」の人生を
目指し、健康寿命を延伸
※長野県の平均寿命は全国一ですが、健康寿命は全国19位
●生活のための交通手段を整え、誰もが暮らしやすい社会へ

2人の子どもの
親だからできる！

**子育てしながら
働きやすい社会へ**
働き方に合わせ、企業・地域内での保育環境の整備
※長野県は、公共保育施設の割合が全国5位、未達児もはじめていた保育の充実が期待です。
●育児の場と職場が近くにある「職育近接」による、子育て負担の軽減
●育児の孤立感や不安感への精神的サポート

この地域には
魅力がある！

長野県一の、ヒト・モノ・おカネの往来を創出
それぞれのまちの魅力や風土を活かし、発信力を高める観光連携
●中部横断自動車道などのインフラ整備と共に外からお金を入れ、経済基盤の確立
●広域経済圏によって人口減少社会に対応した「強い」地域を実現

希望ある佐久平を
あなたと共に
つくりまします



無所属
市川
まさあき
1980年生まれ
38歳

軽井沢生まれ、軽井沢育ち

安倍政治は「消費増税は止めて」「国保税が高く生活が苦しい」「9条守って」・・・安倍政治のもとで、くらしと平和が脅かされています。

ふじおか義英への一票で、
「消費税10%中止」
「国保税引き下げ」
の意思を示そう

地域に活力、くらしに希望を 重点政策

- 高すぎる国保税の引き下げ
 - 子どもと障がい者の医療費窓口完全無料に
 - 保育料、介護保険料軽減、給食費無償化
 - 高齢者のタクシー利用に県の補助を
- 若者の雇用の確保、非正規から正規へ
 - 正規雇用を進める企業への助成制度創設
 - 給与型奨学金制度の拡充を
- 中小企業、商店街支援で、経済活性化
 - 農産物の価格保障、種子条例制定を
 - 千曲川流域、浅間山の防災・減災対策を
- 大北森林組合不正事件の徹底説明
 - 県の情報公開、個人情報保護の徹底を
 - 大規模メガソーラー設置の規制を
- 消費税10%中止、憲法9条を守る
 - 原発再稼働ストップ

財源はあります！
自由に使える基金(財団)が、財政調整基金など570億円、くらし福祉のために使います。

くわしい政策は JCP 検索



行動力・現場主義
ふじおか
よしひで
義英
日本共産党

信州大学農学部卒、47歳、長野県議会議員2期、消防団員第12分団(内山)。趣味は、カラオケ。

代弁者として 攻める

地域課題に強力支援
佐久の存在感を示す

産業・雇用

- 雇用の安定と所得向上
- 中小企業の支援策で佐久が潤う働きかけ
- 女性の就業・働きやすい環境づくり
- 地域の宝を活かした観光ネットワークづくり

県政・県議会

- あらゆる年齢や立場の考えが反映された県政
- 情報はわかりやすく、スピード対応の県議会

勇気を持って発言
責任ある行動

佐久の宝を守る

みんなが元気に
住み慣れたまちで
ずっと暮らせる

問題解決
日常の「困った」を受け止め県政へ挑む

シルバー世代、障がいのある方

- 安心して自立の生活が送れる福祉体制と介護支援
- 予防医療と予防介護の充実
- 通院や買い物移動で困らない交通ネットワーク
- シルバー世代の生きがい創出

山間地とその周辺地域

- 農地の保全、獣害対策、農作物の自給率アップ
- 経営が成り立つ農林業、担い手のやる気を支援
- 集落の美しさと機能の維持、活性化

育てる お手伝い

安心・万全の子育てと教育体制
新しい力を応援

子どもたちと子育て世代

- 子どもの貧困と学力の底上げ・教育格差の改善
- 国際化に対応できるひとづくり(英語教育の充実)
- 膨らむ教育費に対応した助成制度の提案
- 質の高い教育、特色ある教育の推進と教育の充実に対応した助成制度の提案

新しい力

- 若者や女性が挑戦し活躍できる社会づくり
- NPO・ボランティアなどの活動を応援

女性議員が増えれば生活はもっと良くなる



竹花みゆき
昭和40年6月4日生まれ
洗足学園音楽大学卒業
元佐久市議会議員
(平成17年から4期連続当選)
(議会運営委員長等を歴任)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。)